

新宮山彦ぐるーぷ第2033回
持経宿・平治宿の防虫対策など

◇実施日：2019年7月28日(日) 晴時々曇り

◇参加者：沖崎吉信、川島 功、児嶋道夫、濱野兼吉、橋本 梓、
豊嶋 寛、上村洋司、樋口義也、竹中卓治、畑林清子、
大江加代子、岩本信行、梶野照雄。 13名。

今年の6月10日、天台寺門宗(三井寺)の大峯奥駈順峯修行再興45周年記念奥駈行で10名の方が、持経宿を宿泊利用された。後日、同修行に参加されていた会友の椎木さんから「毛布にダニがいたようで、全員がその被害にあった。駆除の必要がある」との報告を頂いた。即時に対応すべきではあったが、雨が続いて晴天の日が殆ど無かったので、毛布を天日干しすることが出来ず、また釈迦ヶ岳の修復作業の日程も重なり、7月末の実行となった。

◎小屋内の燻煙と毛布の天日干し
小屋内にロープを張り全ての毛布を吊るして、バルサン3缶で燻煙。2時間の燻煙後小屋前にロープを張り、毛布を屋外に吊るして天日干して、叩いてから小屋内の毛布棚に収納。古い毛布9枚は持ち帰って処分した。



本日の作業説明

小屋内に毛布を吊るす

バルサンで燻煙中



燻蒸後に天日干し



テントサイトの造成



◎その他の作業

- ・テント場の造成工事(小屋より30~50m 南側林道沿い尾根)
- ・小屋前ベンチの座面板の取換え(豊嶋、樋口)
- ・便所の汲み取り(川島、濱野)
- ・お堂の清掃・整理
- ・持経宿改築時の古材を薪に加工
- ・水場の点検・清掃



ベンチの座面取換え



便槽の汲み取り



改築古材を薪にする

平治宿への巡回（豊嶋、樋口、橋本、上村、岩本）

平治宿巡回班から、平治宿小屋の室内は床が濡れていて毛布をじかに敷けない状態である、との報告があった。

平治宿はキツかったです。暑かったですね。下界よりも風が吹き抜け5℃ほど涼しかったものの、作業をすれば暑いものです。平治宿小屋は、ベチョベチョに湿気ていました。床板は濡れて継ぎ目継ぎ目で黒光りしていました。

全窓全開、次いでバルサンを焚き。本当はストーブに火入れして数時間居たかったものの、余裕がありません。寝具の手入れ、フダの整理に奔走します。

私は陽当たりと風通しの改善のため、南東側の樹木を剪定しました。幸い脚立があつたので駆使させて頂きました。本線側の窓辺に木漏れ日が射す程度になりました。屋上のソーラーパネルにも日光が降り注ぐようになりました。缶コーヒー程の直径の横枝をゴコゴコバツバツサ切り落とすのは、日頃のストレッチレス解消にはうってつけでした。〇〇とケムリは高い所に昇る、の典型例です。2株纏れたモミジの片方が屋根を覆いますので、樹高10m近く伸び上がった一本を選択し、切りました。絡まったリンゴくらの直径の幹を斜めにノコを入れていきます。重心は屋根の上にありますので、本線側に倒さなければ雨樋と屋根トタンを破壊してしまおう。

ノコを入れていくと段々と小屋側に傾げていきます。ここで先に切った小枝の幹を差し込み、テコでネジって隣の木に引っ掛けて確保。反対側から角度を変えて切り進むとテコの木が緩む。緩んだ分増し締めして切り進むと、本線側からの心地よい風が梢を押しして小屋の上にスローモーションでバッシュャーーン。

幸い荷重は斜め切りした方向に掛かり、軽く梢が屋根を撫でただけで済みました。ふう〜。こんな調子で姫沙羅、楓、椿、馬酔木、檜などの枝を相当数落としました。

帰途ではピロピロめまいが襲い、通常速度で歩けなくなりまし
た。いつもじゃなく脈と呼吸が上がり、熱中症の始まりでした。
こんな事もあるうかと冷却スプレーを持ってきましたので、冷や
し冷やし、皆様の背後を追従させて頂きました。（記：上村）

行動タイム

持経宿 12:35→13:30 平治宿 14:30→15:15 持経宿。



持経宿水場の贅沢な流れ



本日の参加者



スポーツ公園で解散

スポーツ公園駐車場 08:45→09:58 持経宿 15:30→16:22 スポーツ公園駐車場。

この時点では、そんなに深刻には思わなかったが、翌29日に平治宿を訪れた村吉さんから「床が濡れているのは、天井の煙抜きから雨水が侵入しているのが原因ではないか？」と連絡があり、又、31日の梶野君の報告では、「ストーブの煙抜き当たりには洩れた後があるが南側奥側の屋根からの漏れもなく、水が撒かれたような濡れ方をしている」と、状況は悪い方へ向かっているようなので、8月9日に平治宿へ向かって対策を講じることにした。

◎7月29日(月) 平治宿水場での単独登山者負傷、ヘリで救助の顛末 (29日の詳細は第2034回行事報告に記載)

負傷者Mさんは、福岡県春日市の男性70歳。

7月16日、沖崎宛に7月28日行仙宿、7月29日持経宿の宿泊予約の電話があった。7月27日に十津川温泉で前泊し、21世紀の森より入山して、吉野まで1泊12日をかけて縦走する予定だと聞いている。

事故後の8月5日にご本人から電話があり「予定通り行仙宿を早朝に出発、この日は距離も短く昼前に平治宿に着いた。あまりの暑さで、水場で裸になって水浴びをしていると、アブがたくさん寄ってきたので追い払おうとした拍子にバランスを崩して転倒、岩角で足首を負傷した。何とか小屋まで戻り、居合わせた村吉さんに大変お世話になりご迷惑をおかけした。

ヘリで桜井市の病院に搬送され診断の結果、傷は足首の動脈寸前で止まってほっとした。応急処置をしていたので、その日のうちに帰路につくことが出来た。今、自宅で静養している。あと数日で抜糸できそうです。」その他のMさんとのやり取りは、

- ① 山彦さんの奥駆道や小屋の維持管理には頭が下がります。
- ② 21世紀の森から平治宿まで、誰一人として合わなかった。
- ③ いずれ奥駆道のリベンジをする。
- ④ お礼がしたいので、村吉さんの住所・電話番号を教えてください。

(記：沖崎、写真：梶野、川島)